



猫の室内飼育について

猫ちゃんの飼育頭数が年々増えてきています。

昔は、猫ちゃんは屋内、屋外を自由に出入りさせるのが一般的でしたが、今は猫ちゃんを取り巻く環境が変わり、室内飼育が増えてきました。

今回は猫ちゃんの屋外に出ることの危険や室内で快適に過ごせる方法・メリットについて紹介します。

室内飼いのメリット

寿命がのびる

外猫の平均寿命…3～5歳
半屋外飼い猫の平均寿命…12～14歳
完全室内飼い猫の平均寿命…15～20歳

愛猫と長く健康に暮らす為には、それぞれの猫の個性やライフステージに応じた適切なケアが大切です。バランスの取れた食事や、定期的な健康診断により体調を管理することで猫の健康を守る事ができます。



病気の早期発見

猫は不調を隠しやすい為、見た目には元気でも内部で病気が進行しているケースがあります。毎日、尿や便の状態をチェックできたり、食欲があるか確認できることで病気のサインに早く気付くことができます。

ストレスの少ない環境作り



猫はストレスに敏感な動物であり、環境の変化や騒音、人との関係性が健康に影響を与えることがあります。

室内に安心してくつろげる場所を用意し、十分な遊びやスキンシップを通じて安心感を与えることが大切です。

ストレスを減らすことで免疫力が高まり、病気の予防にもつながります。

言葉を話せない猫のストレスサインは、飼い主様だけが気付ける大切なSOSです。環境の改善や遊びの工夫で愛猫の健康を守るだけでなく、お互いの信頼関係も深まります。

＜猫が快適に過ごすには…＞

- ・トイレは清潔なトイレを用意し、飼育頭数+1個が理想的
(膀胱炎やトイレの失敗などのトラブルの予防にもなります)
- ・環境の変化に敏感な猫のためのフェロモン製品
(お出かけや動物病院への通院時など環境の変化が伴う場面でも使用できます)

外にはこんな危険が...

・交通事故

停車中の車のエンジンルームに入り込んでいることも
(冬は特に要注意！)

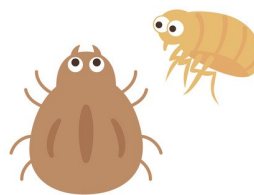


・毒物の拾い食いによる食中毒

植物、チョコレート、ネギ類、アルコール類などで中毒症状をおこす
紐やビニールなどは消化管に詰まってしまう可能性も
(こういった危険性は室内でも起こり得るので注意！)

・ケンカによる外傷

交尾や噛み傷から感染する伝染病のリスクも



・寄生虫の感染

/ミヤダニなど人に感染したり室内に持ち込む可能性も



・社会問題

生ごみ漁りや糞尿公害、畑、花壇荒らし

・不妊手術をしていない場合の野良猫の増加

猫の殺処分の6割は子猫です
今でも1日で約20頭の猫が殺処分されています

猫ちゃんは部屋の中だけでも家具の上に跳びのったり、廊下を走ったり上手に十分な運動ができます。

小さい頃から外に出さず飼育していれば、発情期以外は外に出ようという発想にもなりません。

交通事故で大きな傷を負ったり、中毒で命を落としてしまうこともありません。
猫ちゃんにとっても飼い主様にとっても健康で幸せに過ごせるようにしましょう！

なにか質問等あれば獣医師までご相談ください。

